

中外製薬株式会社  
広報 IR 部

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1  
TEL:(03)3273-0881  
FAX:(03)3281-6607  
E-mail:pr@chugai-pharm.co.jp  
URL: http://www.chugai-pharm.co.jp



【ご参考】

## 「2010 年新春メッセージ」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃は、何かとご高配に預かり厚く御礼申し上げます。

さて、2010 年 1 月 5 日に当社社長の永山 治から全社員に向けて発信いたします「新春メッセージ」草案からの抜粋を、ご参考までにご案内いたします。

ご高承の上、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

敬具

2010 年 12 月 25 日

中外製薬株式会社  
広報 IR 部長  
千葉 暢幸

中外製薬株式会社

広報IR部

〒103-8324 東京都中央区日本橋室町2-1-1

TEL:(03)3273-0881

FAX:(03)3281-6607

E-mail:pr@chugai-pharm.co.jp

URL: <http://www.chugai-pharm.co.jp>



## 新春メッセージ

### 2010年は「トップ製薬企業像実現に向けた大きなチャレンジの年」

～すべての革新は患者さんのために～

代表取締役社長

永山 治

明けましておめでとうございます。

2010年は、弊社が目指す「トップ製薬企業像」の実現にとって重要な年になります。

「アクテムラ<sup>®</sup>」、「アバスタチン<sup>®</sup>」など革新的医薬品の価値最大化を通じた製品の市場浸透と市場創造、既存製品の市場防衛、新製品の上市準備活動などにより各戦略領域でのプレゼンスの維持・向上を目指します。

大きな変革の波が押し寄せる中、ファーストインクラス、ベストインクラスの薬剤を提供し続けることで中期経営計画『Sunrise 2012』達成を確実なものにするとともに、その先にあるトップ製薬企業像の実現に邁進します。

昨年の医薬品業界は「2010年問題」などを背景に、研究開発効率の向上やバイオ製品・技術の獲得を意図した海外企業間の大型買収・合併や日本企業による海外企業の買収が活発に行われるなど、持続的新薬創出モデルの構築に向けた体制への転換を図るための大きな動きの現れた年でした。

このような環境下、弊社は「RoACTEMRA<sup>®</sup>」の欧州での承認で幕を開け、これに続く多くの新製品や、新製品に匹敵するインパクトを持つ適応拡大承認申請を行うことでラインナップの充実をはかりました。また、「製薬本部」、「医薬安全性本部」の創設、営業本部における「オンコロジーユニット」と「プライマリーユニット」の2ユニット制への移行といった組織体制の強化も積極的に行い、「トップ製薬企業像」実現に向けて大きな成果を挙げた年になったと考えています。

2010年は政権交代による制度・政策が不確定な中、薬価改定による薬価引き下げなど厳しい状況が予想されますが、新製品の市場浸透と市場創造、既存製品の市場防衛やグローバルパイプラインの確保など、弊社にとって「トップ製薬企業像」の実現に向けて大きなチャレンジの年になると考えております。弊社のすべての部門が革新を追求し、社員一人ひとりが患者さんのために何ができるかを常に考え、強い意志をもち一つひとつの行動を着実に積み重ねることが「トップ製薬企業」に繋がると確信しています。